

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	市民活動環境の充実			総合計画コード	442
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす目的成果	社会に貢献しようとする市民の自主的な市民活動を行っている、もしくは行いたい市民が市民活動支援ステーション・シニア活動センターを利用しやすいよう施設・備品が維持・管理ができています。					
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援ステーション・シニア活動センターを適切に維持・管理を行う。</li> <li>NPO等が活動する機会を提供し、市民活動に関する情報を発信する。</li> </ul>					
個別計画 関連計画	計画名称	計画期間		H	年度 ~ H	年度
		計画期間		H	年度 ~ H	年度
		計画期間		H	年度 ~ H	年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援ステーション・シニア活動センターの管理、運営</li> <li>NPOなどの市民活動に関する情報の収集・提供・相談・支援・育成</li> <li>市民活動に関する情報等をメールマガジンで発信(年12回)</li> </ul>					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	会議用でのテーブル、掲示板など、団体活動が円滑に行える一助となるように、適切な施設の維持・管理に努めた。				
	子育てがしやすいまち	施設内の備品や、空調利用時の温度設定等、子育て世帯も安心、快適に利用できる施設となるように努めた。				
	つながりのある元気なまち	施設内外での団体情報の掲示など、限られたスペースの有効活用を行い、市民活動の情報発信等を行った。				
	自然・環境に恵まれたまち	再生紙の利用促進や、冷暖房時の温度設定等、環境保全及び節電に努めた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		4,779	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 団体の施設利用回数(延べ) (説明) 印刷機・ミーティングテーブルなどの設備利用、催しなどのポスター・チラシの設置、団体の活動や運営相談など、施設の利用団体数	団体	446	452	458	464	470
		660	—	—	—	—
② (説明)						
			—	—	—	—

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input checked="" type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点) (説明) 市民活動に関する情報提供や発信の拠点として利用され、市民活動団体数も増加傾向にある。また、NPO等との協働事業数も徐々に増加しており、多くの市民等が活動に参加する機会が得られている。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない (説明) 市民活動団体の自立した運営や活動への支援、新たな担い手の発掘や育成など、市民活動に関する様々な事業の展開や情報の発信拠点として役割が求められている。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 市民活動団体同士や個人と団体が結びつき、活発な活動へ繋ぐ役割の充実や団体の運営費の負担が軽減となるよう、利用しやすい設備や備品の管理に努める必要がある。

### 4. 今後の展開方針[部としての判断]

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し (説明) NPOなどの市民活動団体との協働による事業を推進し、利用しやすい施設の管理や運営を行い市民活動の一層の活性化を図る。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input checked="" type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 市民活動支援に関する事業の実施、施設の運営や管理など、将来的にはNPOなどの市民活動団体等に任せるとも視野に入れ、市民等の関与を拡大していく。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
	1 市民活動支援ステーション管理事業	4,757	4,779	4	3	現状のまま
	2 市民活動支援ステーション運営事業	—	—	4	3	現状のまま
	3					
	4					
	5					
	計 (単位:千円)	4,757	4,779	—	—	—
	<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	関連する第三者機関なし					
部長の意見	市民活動団体の運営や活動などに役立つ機器や備品を設置しており、それらの備品を含め利用しやすい施設の維持管理を行い、市民活動の更なる発展、一層の活性化を図るとともに、地域活動に参加したい市民等が参加しやすい環境の整備を継続して進めていく。					